

子供とお年寄りを守ろう

秋の全国交通安全運動



ここ数年まったく変わっていません。

このようなスピードへの慣れや、ちょっとした油断などドライバーとしての基本的な事柄をきちんと実践してこそ、「事故のない明るい社会」への第一歩といえるでしょう。このような背景から今年はいは、

- ▼子供と老人の交通事故防止
- ▼自転車および原動機付き自転車の安全利用の促進

用の促進

▼安全運転の確保とシートベルト着用
の三項目を重点テーマに、国民総ぐるみで秋の全国交通安全運動が行われます。

気をつけよう 横断歩道

道路を横断するときは「左右をたしかめて、手をあげて渡る」。だれでも知っており、実行していることですが、信号機のある横断歩道でも、必ず「青」をたしかめて、左右をよく見て渡るように心掛けてください。

特に押しボタン式信号機のあるところでは、必ずボタンを押し、

信号が青になり、車が停まったことをたしかめて、横断しましょう。山口県内では、八月一日現在で、死亡事故はもう昨年と同じになってしまいました。

運転する人も、歩行者も交通規則はきちんと守り、お互いに交通安全に気をつけましょう。

△運転者の皆さんへ

おとしよりや子供は思いがけない行動に出られることがあるので、その手前からゆとりをもって、ゆとり走りましょう。

△家族の皆さんへ

早朝や夕暮れから夜にかけては特に事故が多いので、おとしよりや子供にはできるだけ付添い、車の多い危険な道路を避け、めだつ服装で懐中電灯を持って歩かれるよう気を配ってあげましょう。

△おとしよりの皆さんへ

道路の右はしか歩道を歩き、横断歩道・歩道橋を渡りましょう。また、道路の横断は必ず一旦止まり、左右の安全を確認してから渡るようにし、車の直前や直後の横断はやめましょう。

雇用の開発に関する調査にご協力を

このところ、全般として経済情勢が少しづつ好転して、企業の活動も活気を帯びてきておりますが、雇用失業状況は相変わらずきびしく、とくに、中高年齢者は高齢化社会が急速に進んでいるなかで、いったん職を失うと、再び就職することは大変困難な状況となっております。

このため、県では本年度から、商工労働部内に雇用の開発、増大に関する業務を専門的に処理する調査研究チームを設置し、本来の職業安定行政とあわせて、雇用失業問題に取り組んでいます。

この業務の一環として、いま次のような調査を行っており、皆さんのなかにもこの調査票を受け取っておられる方がおられるか、調査票をまだ返送されていないところがある

りましたら、早速所要の事項をご記入のうえ、返送していただくようお願いいたします。

この調査は、統計的な資料を作成するためのもので、他の目的に使われたり、個人や企業の名前がでるようなことは絶対にありませんから、積極的にご協力ください。

△雇用労働力開発調査

事業所を対象に行うもので、主として将来にわたって発展が期待される産業や職種、中高年齢者などのかかりあい等について調査します。

△失業者再就職動向調査

現在雇用保険を受けておられる方や、すでに雇用保険の受給を終了された方について行うもので、再就職する(再就職した)場合の職種や希望条件などの傾向を中心に調査します。

若返り法は

燃える心をもつこと

頭を使い、気は使わないということが、老化を防ぐコツです。気持ちをリラックスすることは必要ですが、だらけた生活をする必要は、精神を後退させます。つまり精神の緊張と緩和のバランスをとることが大切です。

また、自からの心を若々しく、趣味や娯楽、奉仕などに燃える心を持ち、毎日を張り切って生活しておれば、病魔は自然に防げます。最近では、老人クラブなどで旅行に行かれる方も多いようです。そこでお年寄りのための旅行の心得についてあげてみましょう。

△高齢者の旅行一〇か条

- ① 留守宅に宿の電話番号を教えしておく。
- ② 保険証を忘れず持参する。
- ③ 車酔い、血圧などの薬を忘れて持参する。
- ④ 持病のある人は、診断を受けて参加する。
- ⑤ 休憩の多い旅行スケジュールにする。
- ⑥ 履物、着る物は着なれた物を、乗車船の前には用便をする。
- ⑦ 睡眠は十分とること。
- ⑧ 散歩や入浴は一人ではない。
- ⑨ 暴飲暴食はつしむ。

